

J H F 理事会議事録

日 時： 2020年3月5日(木) 13:00～20:00

場 所： J H F 事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 小林秀彰 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 内田孝也 大沢 豊
小林秀彰 安田英二郎 殿塚裕紀（スカイプ）
【監事】 岩村浩秀
欠席【理事】 市川 孝 【監事】 大森健一
（出席理事6名 今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事・監事の一言

4. 審議事項

審議事項4-1 2020年度事業計画の承認について

安田副会長からの事業方針案について説明し協議した。

内田会長：事業方針に公益目的事業基金の取り崩しを入れるのは必要でしょうか？2020年度の事業計画なので書かなくてよいと思う。事業報告に出せばよい。

議長（小林副会長）：この部分は重要で、取り崩さないとやっていけないアピールもあります。

岩村監事：入れることは問題ないですが、資金を取り崩すとして金額を入れなければよいと思う。

殿塚理事：取り崩すことは知ってもらいたい。

安田副会長：金額は抜きます。

議長（小林副会長）：次に事業の具体的内容について。理事会・事務局の事業に、死亡事故0と新会員の獲得を入れたい。

芦川理事：それは事業目標ですね。安全対策としては死亡事故0を目指す。

安田副会長：具体的内容ではなく事業方針なので、最後の部分に「死亡事故0と新会員獲得に取り組んでいきます」にしましょう。具体的内容に（13）「オンライン手続き、キャッシュレス決済の研究」を入れたい。

議長（小林副会長）：次に委員会計画。安全性委員会に事故統計がない。大卒の事故の傾向が欲しい。

芦川理事：母数が少ないのでインシデントレポートも集めないと傾向は出ない。報告を集めることが必要。競技委員会のウェブサイトでは日本選手権、世界選手権の過去も含め成績が更新されていないので更新をお願いしたいので担当理事から連絡をお願いします。

議長（小林副会長）：教員スクール事業委員会から実技ビデオを YouTube 等で流したいと意見があります。別途 YouTube の公式アカウントを J H F で作る提案をします。他、事務局事業に「7. スクール・エリア登録の推進」を追加します。

芦川理事：事務局事業に「8. ITシステムの更新および効率化」の追加もお願いします。

議長（小林副会長）：では事業計画について賛成の方は挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、殿塚、安田

審議事項4-2 2020年度予算の承認について

内田会長から予算についての説明があった。収入が減り続け、支出が増えても公益目的事業基金を取り崩せば5年は何とかかなると思っておりましたが予算より支出が多いので次期予算について対策を考えましょう。

岩村監事：保険料増による会費値上げ、管理経費の縮小化、事業費負担の軽減が必要になります。

議長（小林副会長）：会費の値上げが必要であれば2021年からなので総会で説明が必要。

内田会長：予算を作る時に今年度の事業を配慮して補正していなかったのは、消費税率が上がっているのを加味しなかったことと、会員は2%減の予測が5%減である。

芦川理事：会費は決算予測が-6.5%です。予算も金額的にそのくらい考えた方がよい。

議長（小林副会長）：高齢化を考えると会員数は加速的に減る可能性はあります。20代、30代を増やさないとかなり減りますね。

岩村監事：事務局の統計だと会員年代は70代が12%、60代29%、50代29%、40代15%それ以下は桁が違う。ただ新規登録する年代は20代27%、10代24%と若くなっている。

議長（小林副会長）：予算案は1,800万円を取り崩す方向なので廃案の決議を先にしましょう。

審議事項4-3 公益目的事業基金規程の廃案について

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、殿塚、安田

議長（小林副会長）：審議事項4-2の予算に戻ります。

岩村監事：会費収入の予算はどうでしょうか。

内田会長：決算予測から2%減にしていたので、芦川理事の指摘があったようにそれより収入が減ると、保険料の支出はその分は減ります。

岩村監事：会員数を2%減から5%減にして、技能証も3%減から5%減にして計算したらどうでしょう。

議長（小林副会長）：教員スクール事業委員会からは教員助教員技能証申請料1千円を5千円にしようという案は出ています。

内田会長：来年度はパラのアジア選手権がクロカンとアキュラシーが2大会あり補助金の要望があり、通常は満額予算に入れますが、過去のアジア選手権支払金額に合わせました。アキュラシージャッジ養成について20万をプラス。予算の段階で公益事業推進費100万を確保しています。

岩村監事：今年は緊急事態ではなく、2020年度はこのままでも何とかかなるがその翌年はどうするかが問題です。

議長（小林副会長）：更新振込は5千人くらいを想定し2021年から会費1,000円値上げを考えていく。2020年度予算案については単年度で削れるもの、中長期で減らせるものを検討しましょう。まずは減少率5%に修正した予算案を配ってください。

岩村監事：直した結果の悪化は、会長の推定通りですか。金額が大きく削減に貢献しそうなのは人件費、広報事業、補助事業くらいですね。あとは、大会支出。

芦川理事：いま決めた削減費目と、委員会、大会費用の一律10%削減で、単年度赤字が一千万円くらいに収まりますね。

議長（小林副会長）：この内容で予算案を修正したものを持って決議することで挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、殿塚、安田

審議事項4-4 2020年度委員承認について

定員オーバーの委員会が補助動力委員会、ハングパラ振興委員会、PG競技委員会、教員スクール事業委員会。

議長（小林副会長）：立候補された篠塚さんはJPMAの事務局長に就任され、2団体をつなげる人材として期待されます。また、PG競技委員会は現在もアキュラシー担当として1名追加しています。

安田副会長：篠塚さんは役員選任実行委員を務めたし、JHFの委員会も理解しています。

内田会長：篠塚さん個人には私も期待しますが、注意しないといけない点があります。それはJPMAから雇われて給料をもらう身になったことです。

殿塚理事：私は個人的によく知っていることもあり、ぜひJHFでも活動に参加させたい。

議長（小林副会長）：委員会の委員承認だから、一括賛否でよろしいか？ PG競技委員会は前期踏襲なので賛否は不要ですね。

安田副会長：まずは篠塚さんについて採決を。

採決の結果、【賛成0 反対5 棄権0】で否決された。

反対： 芦川、内田、大沢、殿塚、安田

殿塚理事：委員としては不採用でもJPMAの人間として委員会にオブザーバー参加させてほしい。

議長（小林副会長）：委員としての承認ではなくオブザーバーとして各委員会に参加してもらうのは委員会判断ということですね。次に教員スクール事業委員会について、増員を認めるか挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成0 反対5 棄権0】で否決された。

反対： 芦川、内田、大沢、殿塚、安田

議長（小林副会長）：増員は認めないということで、委員会に応募者から1名減らすことを伝え、人選をお願いするように伝えます。

審議事項4-5 JHF更新講習会規程の改正案について

教員スクール事業委員会、制度委員会からのJHF更新講習規程改正案について、小林副会長から説明があった。

内田会長：レスキューリパック認定証、上級タンドム技能証が一緒になっていて、検定員の仕事か教員の仕事か分かりにくい。

大沢理事：安田副会長の言う通り、3条の6, 7, 8は外したほうが良い。

安田副会長：8条に書かれているのは4条と重複しておかしい。

内田会長：4条も8条も「有効期限内に受けないといけない」となっているのは、実態はいったん更新をしなくてもその後更新講習を受けてから申請出せば、その日付から有効となるというのと矛盾している。

議長（小林副会長）：第3条の6レスキューリパック認定証、7ハングライディング上級タンドム技能証、8パラグライディング上級タンドム技能証については、委員会に戻し別に案を作る。第8条の更新申請については、分かりにくいので制度委員会が確認後に教員助教員の更新講習の規程として別途理事会にて文書理事会とします。

審議事項4-6 JHF日当、受検料改正について

教員スクール事業委員会からの意見もあり、小林副会長から日当、受検料改正案の提案があった。岩村監事より、日当は5千円以上になると源泉が必要になることと、講師料や事業謝礼は元々課税対象である説明があったがJHFは源泉をして来なかった。提案の移動日にも日当を支払うのは疑問等の意見があり見直しをして継続審議となった。

審議事項4-7 技能証規程_上級タンドム検定不合格者再検定について

教員スクール事業委員会より、現時点の上級タンドム検定で不合格の場合は、1ヶ月以上の再練習期間を設け再検定であったが、上級タンドム技能証を有する教員の推薦を受けた上で再検定としたいとの提案があった。

技能証規程本体は、このほかの修正を待って改正される予定となっており、本件の規程改正を4月1日から有効にしたいならば、適切な手段で受検生に伝わるよう事前告知することを条件に採決した。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、殿塚、安田

5. 協議事項

協議5-1 HG日本選手権、HGクラスV日本選手権の開催について

大沢理事より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を受け公認、後援大会が中止になっている中、3月のJHF主催の日本選手権については実施できるよう準備中という説明があった。

内田会長から、日本航空協会が気にしていること、また政府発表で自粛要請から10日後（3月9日ころ）に追加施策、その後には特措法の成立が見込まれることから、慎重な状況判断をお願いした。

協議5-2 SSFについて

今年の埼玉スカイスポーツフェスタ(SSF)については、2020年度予算が厳しいこともあり、次回実行委員会に殿塚理事が担当理事として出席してJHFとして資金がない事と本部予算の手当てでできる事を相談することにした。

6. 報告事項について 下記が報告された。

6-1 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。(出席理事)
理事

芦川雄一郎 印

内田孝也 印

大沢 豊 印

小林秀彰 印

殿塚裕紀 印

安田英二郎 印

監事

岩村浩秀 印

議事録作成人：桜井加代子